

環境マネジメントシステム

環境保全委員会体制とISO14001を中核に、地球環境の保全に努めます。

環境保全体制と運営

カシオでは、カシオ計算機とそのグループ会社を対象に、副社長を委員長として5つの専門委員会と5つの実行部門で構成される「カシオ環境保全委員会」を設置、この体制のもと、「カシオ環境ボランティアプラン」および「環境行動目標」に基づく環境保全活動をPlan、Do、Check、Actionサイクルの継続的改善を実施することにより推進しています。

具体的には、以下に図示した推進事務局および5つの専門委員会がPlanを、5つの実行グループがDoを、環境監査機関および推進事務局がCheckを、そしてカシオ環境会議がActionを、それぞれ担っています。

カシオ環境保全委員会

- 環境保全の継続的改善を推進するためにPlan、Do、Check、Actionサイクルを統轄する委員会体制。

カシオ環境会議 (Action)

- カシオグループ環境政策の方向性や行動目標、行動計画を決定する。
- 実行委員会および専門委員会の環境政策の審議および活動実績を報告する。
- 環境動向や実行部門間の情報を交換する。

専門委員会 (Plan)

- 実行部門単独でなく、グループ会社または事業部共通で取り

組むべき戦略テーマを統轄する専門委員で構成する。専門委員長はカシオ環境保全委員会の委員長が任命する。

- 各専門委員会は専門委員長と各実行部門委員長により任命された実行委員で構成され、運営は推進事務局が行う。

推進事務局 (Plan)

- カシオグループ推進政策の方向性や行動目標、行動計画の企画を行う。
- カシオ環境ボランティアプランの運用管理と環境経営指針の改訂を行う。
- 国内外の環境動向をつかみ実行部門等へ情報提供する。
- カシオ環境保全委員会の運営とテーマ別専門委員会の運営を行う。

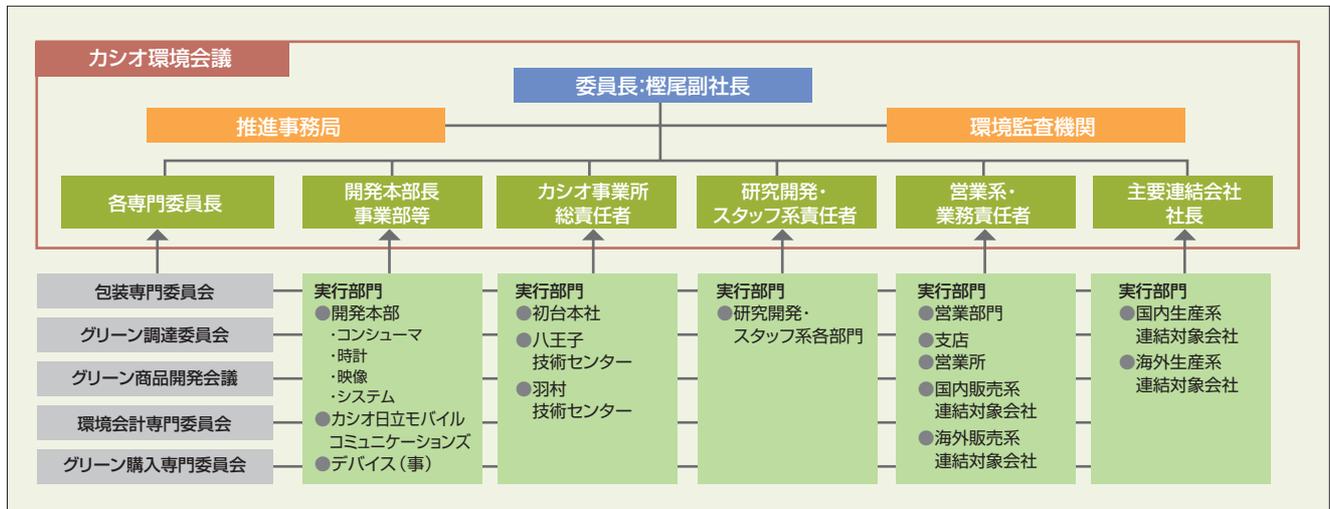
実行部門 (Do)

- カシオ環境会議の決定事項を受けて、環境改善活動を推進する。
- 実行部門全体の環境マネジメントシステムを構築する。
- 環境マネジメントシステム実施のために、体制および責任を明確にして目的・目標を設定し、運用管理や自主管理、是正処置を行う。

環境監査機関 (Check)

- 推進事務局と実行部門の内部監査員により構成され、カシオグループ全体のレベルアップを図るため、実行部門への環境パフォーマンス調査や事業所環境自己監査を行う。

カシオ環境保全委員会 運営体制



ISO 14001 認証取得状況

国内でシー・シー・ピーが2006年6月に認証を取得しました。これ
で国内13拠点、海外9拠点でISO14001:2004の認証取得・切り
替えを完了しました。

今後の活動は、システムおよびパフォーマンスの継続的改善へ
と移行していきます。

また、国内の営業系拠点についても認証取得を拡大し、カシオ
での環境保全体制の構築を推進していきます。

なお、2005年度時点で、全事業所の認証取得比率は、従業員
比率で84.8%に達しています。

お詫びと訂正:

昨年度CSR報告書2005において、従業員比率が78.2%とご報告いたしま
したが、83.1%に訂正させていただきます。

国内		海外	
会社・事業所名	取得年月日	会社・事業所名	取得年月日
山形カシオ	1997年11月	韓国カシオ	1998年 4月
甲府カシオ	1998年 1月	香港カシオ番禺工場	1999年 9月
高知カシオ	1998年 3月	香港カシオ	1999年12月
カシオ電子工業	1999年 9月	カシオ電子珠海	2000年 9月
カシオサポートシステム	2000年 1月	朝日インドネシア	2001年 2月
カシオマイクロニクス	2000年 3月	カシオタイ	2001年 9月
カシオ計算機 羽村技術センター	2000年10月	台湾カシオ	2001年12月
カシオ計算機 八王子技術センター	2000年10月	カシオ電子シンセン	2002年 2月
カシオ計算機 本社	2000年12月	カシオ電子中山	2002年 4月
カシオソフト	2001年12月		
カシオテクノ	2002年 5月		
カシオ日立モバイルコミュニケーションズ	2004年 6月		
シー・シー・ピー	2006年 6月		

環境教育・表彰制度

カシオでは、従業員一人ひとりが日常から環境に配慮した活動
ができるよう環境教育、啓発活動を推進しています。

まず、新入社員に対しては、配属前に環境一般教育を実施して
います。加えて、一般社員、管理職、環境担当者など階層別の研
修として、業務内容に応じて一般教育/専門教育を年1回実施し、
環境意識と知識レベル向上に努めています。

また、表彰制度として、拠点ごとに改善提案制度の運営を行い、
優秀な提案に対しては、個人またはグループ単位で年2回表彰して
います。なかでも6拠点(甲府カシオ、カシオマイクロニクス、山形
カシオ、高知カシオ、カシオ日立モバイルコミュニケーションズ、カシ
オテクノ)では独自の表彰制度を設けています。具体的には、エコ
ボーナス制度(表彰:随時)、社長賞(表彰:2回/年)、POINT評
価制度(表彰:2回/年)など、社員の環境保全への意欲を促進す
る表彰活動などがあります。

環境リスクマネジメント・ 環境法規制の順守状況

環境法規制の順守状況については過去5年間、法令違反、罰金、
科料、苦情、訴訟など(件数と金額の発生)はありませんでした。

過去5年間の規制違反等の状況

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
件数	0	0	0	0	0
金額	0	0	0	0	0

甲府カシオ(本社)では環境リスクマネジメントとして、2005年10
月に地震発生を想定した緊急事態
訓練を全従業員を対象に実施しま
した。また、2005年11月と2006年3
月に、重油・IPA(イソプロピルアル
コール)が大量に漏洩したことを想
定した対応訓練も実施しました。



地震発生を想定した
緊急事態訓練の様相

Key Man 人物紹介 ISO 14001 推進リーダー のひと言

カシオ日立モバイルコミュニケーシ
ョンズ(CHMC)はカシオ計算機と日
立製作所の合弁会社として、2004年
4月に設立されました。事業内容は、
携帯電話の開発、設計等で、日立ブ
ランドとカシオブランドの両方を扱っ
ています。



カシオ日立モバイル
コミュニケーションズ
協田 勝弘

環境適合製品は、日立ブランドは
日立グループの環境適合製品基準、
カシオブランドはカシオグリーン商品の認定基準それぞれに従っ
て認定されます。

特に、カシオブランドについては、合弁会社設立前の2001年
よりカシオグリーン商品として認定されており、2002年以降はカ
シオグリーン商品としての売上比率100%を継続しています。

今後は合弁会社の強みを活かしてLCA手法の完成度を上げ
ていく予定です。

CHMCでは、派遣社員と請負社員の比率が高く、開発テー
マの進捗に応じて大きく変動することから、ゴミの分別を解説
した「ゴミ分別ルールガイドブック」や情報セキュリティの基本
を記載した「入構者ガイドブック」を入構時の説明会で配布して
います。

また、環境月間に合わせたキャンペーンを昨年の6月から1ヶ
月間実施したり、2005年10月から毎月メールマガジンを発行する
ことで、環境問題を身近に感じていただけるように努めています。